

公園とその周辺都市施設の隣接効果に関する研究

大同工業大学 正員 舟渡悦夫
大同工業大学 ○桑原茂幸 落合健一
大同工業大学 権田直己 加藤正徳

1. はじめに

市民の憩いの場となるように整備された都市公園が、余り利用されていない実情にある。特に、公園面積の狭い街区公園でその傾向が著しい。しかしながら、限られた都市空間の中で公園機能の重要性が否定されるものではない。

このような背景の中、公園が他の都市施設と隣接している場合、その都市施設の利用者が公園も利用するという隣接効果が生ずることが考えられる。そこで、本研究では、「都市公園が他の都市施設とどの程度隣接しているか」を調べることを研究の目的とした。

2. 隣接施設の分類

公園と隣接する都市施設を、表-1に示すように、公共施設を中心として、教育、文化、社会福祉、保険医療、防災防犯、その他、宗教施設、公園と8つの系に分け、各系内で都市施設の種類を細分した。

3. 隣接度の定義

公園と他の都市施設がどの程度隣接しているかを、図-1に示す隣接度（w：重み）により定義した。

- 隣接度5：同一街区内で公園に直接隣接している。
- ：2車線以下の道路に直面している。
- 隣接度3：4車線以上の道路に直面している。
- 隣接度2：公園に隣接対面していないが、公園から半径100m以内にある。
- 隣接度1：公園に隣接対面していないが、公園から半径101～250m以内にある。

4. 隣接得点の定義

特定の公園の周辺に各系・各種類の都市施設があり、同一種類の都市施設が複数あることが考えられる。そこで、以下のように種類別の隣接得点を定義した。ここで、S_jは都市施設種類（j）の隣接得点、

$$S_j = \sum F_{rj} \cdot W_{rj} \quad S_k = \sum S_{kj}$$

S_kは都市施設系（k）の隣接得点、F_{rj}はr系j種類の施設数、W_{kj}はr系j種類の隣接度を表す。

5. 都市施設別の隣接得点

ここでは、名古屋市の都市公園（1245）を分析対象とした結果について述べていく。

1) 都市施設別の隣接率

隣接得点が1以上の公園の全公園に占める割合を隣接率とした時、教育系で54%、文化系で39%、医療系で23%、社会福祉系で46%、防災系で51%、その他系で32%、宗教系で26%、公園系で64%が隣接しており、公園敷地境界から250m以内の範囲内に相当数の都市施設が立地していること

表-1 隣接都市施設一覧

系	記号	都市施設の種別	隣接率
教育	E1	幼稚園	17.9
	E2	小学校	28.0
	E3	中学校	13.2
	E4	養護・養育学校	1.0
	E5	高校	6.4
	E6	大学短大	4.0
	E7	専修学校	4.9
	E8	各種学校	2.9
文化	C1	図書館	1.4
	C2	社会教育文化施設	7.4
	C3	スポーツ施設	20.6
	C4	集会所	18.9
社会福祉	W1	保育所	16.5
	W2	学童保育所	10.5
	W3	社会福祉施設	9.7
	W4	どんぐり広場等	23.5
保健医療	H1	病院	2.2
	H2	保健医療施設	20.0
防災防犯	S1	耐震性防火水槽	22.5
	S2	応急給水施設	7.2
	S3	避難所	19.3
	S4	広域避難場所	5.1
	S5	消防署	1.1
	S6	消防出張所	3.7
	S7	消防団詰所	15.1
	S8	警察署	1.8
	S9	派出所	6.8
その他	O1	郵便局	17.4
	O2	その他・官公所	20.5
宗教	M1	神社	20.9
	M2	寺	8.5
公園	P1	公園・緑地	63.5

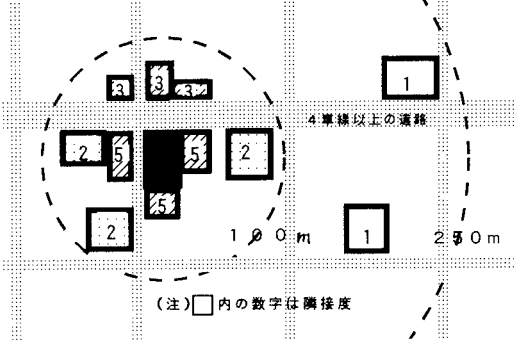


図-1 隣接度の概念

がわかる。また、表-1より各種類別の隣接率をみると、小学校、スポーツ施設、集会施設、どんぐり広場、保健医療施設、公園・緑地、公園内の耐震性防火水槽避難所等施設の隣接率が約20%以上となっている。

2) 都市施設系別の隣接得点別公園数

図-2は、各都市施設系別の隣接得点別公園数を街区公園とそれ以外の公園・緑地（図中では他と表記）に分けて示したものであり、以下のことがわかった。

- ・最も隣接得点が高い施設は「公園系」であり、街区公園で62%、他の公園で71%の隣接率である。
- ・次に隣接得点が高い施設は「教育系」であり、街区公園で53%、他の公園で59%の隣接率である。
- ・さらに、「社会福祉系」で街区公園が45%、その他の公園が50%の隣接率となっている。
- ・施設に直接隣接していると思われる隣接得点5以上の施設の割合となると、街区公園では「教育系」が14%、「防災系」が33%であり、他の公園では「文化系」が51%、「防災系」が55%など、その他の系についても13%以上の隣接率で、公園面積が広いことにより隣接得点も高くなっている。
- ・「文化系」施設で、街区公園と他の公園での隣接得点の差が大きくなっている。

6. 公園種別でみた都市施設系別隣接得点の内訳

図-3は、公園種別ごとに隣接得点の都市施設別内訳をみたものであり、以下のことがわかった。

- ・街区公園では「防災系」施設が最も高く、次いで「教育系」「社会福祉系」「公園系」の施設との隣接性が高い。
- ・近隣公園、地区公園、総合・運動公園での隣接施設としては「文化系」「防災系」の施設の割合が高い。
- ・緑地・緑道では「社会福祉系」「公園系」の施設との隣接性が、他の公園種別に比べ高い割合にある。

7. おわりに

本研究の結果は、街区公園の利用調査を実施する際の調査地区選定作業のために用いる予定であり、そのための公園の類型化作業を進めており、後日発表する予定である。

参考資料

- 1) 1995年 名古屋の公園：名古屋市長政緑地局
- 2) 学区別生活環境調査報告書：名古屋市、平成6年

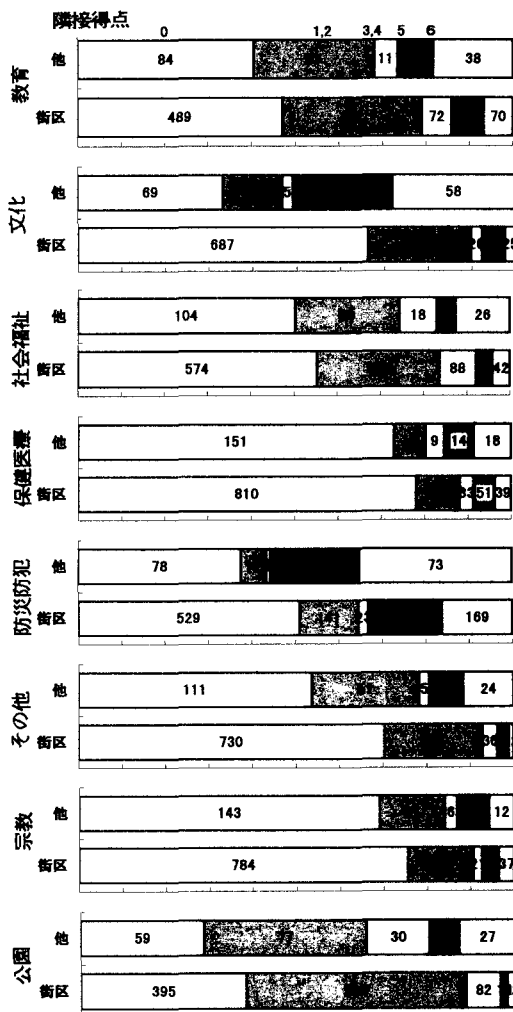


図-2 都市施設系別・公園種別の隣接得点別公園数

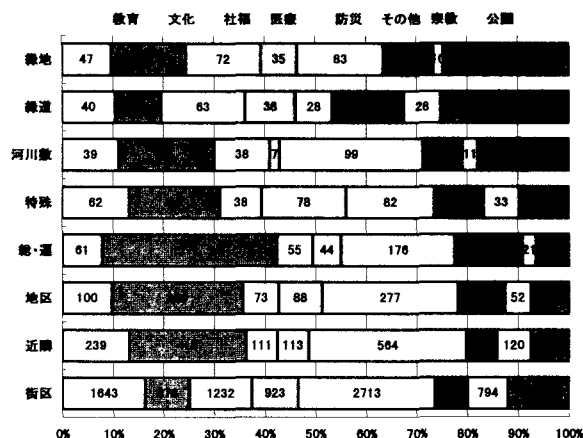


図-3 公園種別ごとの隣接得点の内訳